



プレスリリース

一般社団法人日本原子力学会

日本原子力学会は、社会的関心の高い科学技術である原子力の広範囲にわたる 学術・技術専門家集団として社会への情報提供を行うため、主要な活動等について、随時プレスリリースを行っています。

今回は、シンポジウム「1F 廃炉で発生する放射性廃棄物の取り扱い～保管の在り方・必要なことは何か」開催のお知らせです。

日本原子力学会シンポジウム開催のご案内 第8回 東京電力福島第一原子力発電所の廃炉 「1F廃炉で発生する除染・解体物の取り扱いを考える」

福島第一原子力発電所(1F)で燃料デブリの取り出しが始まると、放射能レベルの高いものから低い物まで多種多様の廃棄物が発生します。また、ALPS 処理水の海洋放出が進むと不要になったタンクの処理・処分など、クリアランスが可能と考えられる解体物も多量に発生することが予想される。このような状況を反映して、1F 廃炉の作業工程を俯瞰して解体物や放射性廃棄物をどのように管理・処理・処分するのか、若い世代を中心に様々な立場から討議します。解体物の再利用・限定再利用、廃炉終了時期を含む作業工程、エンドステートなどの課題に係る自由な発言を促し、1F 廃炉の遂行には廃棄物の管理・処分の検討が重要であることを社会に発信することにより、今後の1F 廃炉作業に役立てたいと思います。

皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日 時：2024年8月24日(土) 13:15～17:00 (予定)

<https://www.aesj.net/symp20240824>

場 所：建築会館ホール (東京都港区芝 5-26-20)

<https://www.aij.or.jp/map.html>

主 催：一般社団法人日本原子力学会

参加費：無料

プログラム：

13:15～13:30 2023年度廃炉貢献賞の紹介

13:30～13:35 開会の挨拶と導入

福島第一原子力発電所廃炉検討委員会廃棄物検討分科会主査・福井大学 柳原 敏

13:35～14:35 講演1「原子炉廃棄物の処理処分の現状 1Fの課題」 東北大学 出光 一哉

講演2「福井におけるクリアランス物のリサイクルの実例」 PTP 吉村 理恵子

14:15～16:45 パネルディスカッション テーマ「1F廃炉での廃棄物の取り扱いを考える」

ファシリテータ 一般社団法人複合リスク学際研究・協働ネットワーク 土屋 智子

パネリスト (順不同)

福井南高等学校 生徒

下園 愛心

福井南高等学校 教諭

浅井 佑記

PTP

吉村 理恵子

日立GEニュークリア・エナジー

野田 篤志

日本原子力研究開発機構

眞下 隆太郎

共同通信社

広江 滋規

他

16:45～16:55 まとめ及び閉会の挨拶

福島第一原子力発電所廃炉検討委員会委員長

宮野 廣

以上

本件に関する取材等お問合せ先:日本原子力学会事務局
TEL: 03-3508-1261 / E-mail: hairo@aesj.jp